

令和4年度  
兵庫県社会教育委員協議会  
総会・研修会資料



日 時 令和4年5月30日（月）  
場 所 兵庫県民会館けんみんホール

兵庫県社会教育委員協議会

# 目次

1	令和4年度兵庫県社会教育委員協議会総会及び研修会開催要項	…	1
2	令和3年度兵庫県社会教育委員協議会役員名簿	…	2
3	令和4年度兵庫県社会教育委員協議会表彰受賞者一覧	…	3
4	議案第1号		
	・ 令和3年度兵庫県社会教育委員協議会事業報告	…	4
	・ 令和3年度兵庫県社会教育委員協議会決算報告	…	7
	・ 令和3年度事業並びに会計監査報告	…	8
5	議案第2号		
	・ 令和4年度兵庫県社会教育委員協議会役員	…	9
6	議案第3号		
	・ 令和4年度兵庫県社会教育委員協議会活動目標	…	10
7	議案第4号		
	・ 令和4年度兵庫県社会教育委員協議会事業計画	…	12
	・ 令和4年度兵庫県社会教育委員協議会予算	…	22
	・ 令和4年度兵庫県社会教育研究大会について	…	24
	・ 広報誌「くすのき」の発行方法変更について	…	26
8	研修会ノート	…	35
9	兵庫県社会教育委員協議会会則	…	37

令和4年度兵庫県社会教育委員協議会  
総会及び研修会開催要項

- 1 日 時 令和4年5月30日(月) 13:30~16:00
- 2 会 場 兵庫県民会館 けんみんホール  
(〒650-001 神戸市中央区下山手通4丁目16-3)
- 3 参加者 社会教育委員協議会代議員  
兵庫県社会教育委員協議会表彰被表彰者  
社会教育委員事務担当者等  
(各教育事務所職員、市町教育委員会職員)
- 4 日 程
  - (1) 開会行事(13:30~)  
あいさつ  
祝 辞  
表 彰(兵庫県社会教育委員協議会表彰)
  - (2) 議長選出
  - (3) 議事  
議案第1号 令和3年度事業・決算報告、会計監査報告  
議案第2号 令和4年度役員選出について  
議案第3号 令和4年度活動目標案について  
議案第4号 令和4年度事業計画案・予算案について

---

(休憩・換気)

  - (4) 研修会(15:00~)  
演題 「持続可能な社会の創り手とは」  
~グローバル社会の未来に向けて  
社会教育がつなぐ 地域と人~  
講師 ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 児童学科  
教授 西井 麻美 氏
  - (5) 閉 会(16:00)

## 令和3年度兵庫県社会教育委員協議会役員名簿

(敬称略)

役 職	名 前	市町名 (地区)
会 長	上羽 慶市	県
副会長	萬浪 佳隆	県
	荒木 伸雄	丹波市 (丹波)
理 事	立田 慶裕	西宮市 (阪神南)
	田中 亨胤	三田市 (阪神北)
	梶原 好博	高砂市 (東播磨)
	神戸 滋和	加東市 (北播磨)
	辻井 光明	神河町 (中播磨)
	室井 美千博	太子町 (西播磨)
	梶井 逸郎	養父市 (但馬)
	畑 美代子	淡路市 (淡路)
監 事	高田 明	姫路市 (中播磨)
	清水 誠朗	相生市 (西播磨)



## 令和4年度兵庫県社会教育委員等表彰 受賞者一覧

No.	(ふりがな) 名 前	経 歴	在職期間 (通算年数)	表彰該当 規程	推薦地区
1	(ほそき すみえ) 細木 澄江	尼崎市社会教育委員	H26. 7. 1～現在 (通算7年9ヶ月)	第3条 (1)	阪神南
2	(ぬくい じんゆう) 温井 甚佑	宝塚市社会教育委員	H26. 7. 26～現在 (通算7年9ヶ月)	第3条 (1)	阪神北
3	(よりふじ たかし) 依藤 孝	西脇市社会教育委員 (委員長：H29. 4. 1～現在)	H25. 4. 1～現在 (通算9年)	第3条 (1)	北播磨
4	(なかむら みよこ) 中村 美代子	宍粟市社会教育委員 (委員長：H31. 4. 1～現在) (副委員長 H28. 4. 1～H31. 3. 31)	H24. 4. 1～現在 (通算10年)	第3条 (1)	西播磨
5	(みやわき しょうすけ) 宮脇 昭介	宍粟市社会教育委員 (副委員長：H31. 4. 1～現在)	H23. 4. 1～現在 (通算11年)	第3条 (1)	西播磨
6	(しみず おさむ) 志水 修	宍粟市社会教育委員	H23. 4. 1～現在 (通算11年)	第3条 (1)	西播磨
7	(たむら てつお) 田村 哲夫	香美町社会教育委員	H27. 4. 1～現在 (通算7年)	第3条 (1)	但馬
8	(だて くみこ) 伊達 久美子	南あわじ市社会教育委員 (副委員長：H29. 4. 1～現在)	H27. 4. 1～現在 (通算7年)	第3条 (1)	淡路
9	(まつさか としひと) 松坂 壽仁	南あわじ市社会教育委員	H27. 4. 1～現在 (通算7年)	第3条 (1)	淡路

※ 在職期間の通算は、令和4年4月1日現在

### (表彰規程)

第3条 表彰は、次の者につき役員会において決定する。

- (1) 7年以上社会教育委員として在任し、その功績顕著な者。
- (2) 5年以上地区社会教育委員協議会、市町社会教育委員協議会の事務局担当職員として業績が顕著である者。
- (3) 前2号の規程に該当するもので退任(職)した者並びに、特に社会教育委員協議会の発展に功績があると認めた者については、表彰状又は感謝状を贈ることができる。

議案第1号

令和3年度兵庫県社会教育委員協議会事業報告（県協議会）

	月日	場所等	内 容
第1回役員会	6月10日	オンライン 開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業及び会計監査報告について</li> <li>・令和3年度役員選出について</li> <li>・令和3年度活動目標について</li> <li>・令和3年度事業計画及び予算について</li> <li>・令和3年度総会・研修会について</li> <li>・令和3年度兵庫県社会教育委員協議会表彰について</li> <li>・令和3年度全国社会教育委員連合表彰の候補者推薦について</li> </ul>
総会・研修会	7月5日	ホテル 北野プラザ 六甲荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度兵庫県社会教育委員協議会表彰</li> <li>・令和2年度事業・決算・会計監査報告</li> <li>・令和3年度役員選出について</li> <li>・令和3年度活動目標について</li> <li>・令和3年度事業計画・予算について</li> <li>・講演「AI（人工知能）と共存する社会教育の学びを探る」</li> <li>・講師 千葉敬愛大学学長 千葉大学名誉教授 中央教育審議会生涯学習分科会会長（第7～10期） 明石 要一 氏 （参加者数 77名）</li> </ul>
臨時役員会	8月20日	オンライン 開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度予算の変更について</li> </ul>
臨時総会	9月8日	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度予算の変更について</li> </ul>
第2回役員会	10月7日	県民会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区協議会の活動状況報告</li> <li>・令和3年度兵庫県社会教育研究大会について</li> <li>・令和4年度総会・研修会について</li> <li>・令和4年度各地区協議会分担金等の見直しについて</li> </ul>
臨時役員会	10月22日	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県社会教育委員協議会会則の細則改正について</li> </ul>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">社会教育研究大会</p>	<p>11月29日</p>	<p>のじぎく 会館</p>	<p>講演 「社会教育における地域力（市民力）を發揮させるための方策」 講師 NPO法人シミズシーズ 代表理事 柏木 登起 氏</p> <p>実践発表 「地域子ども教室の充実した活動に向けて」 加東市社会教育委員 神戸 滋和 氏 加東市教育委員会生涯学習課 福島 奨平 氏 「地域と学校の連携による取組『たつの市こども未来塾』について」 たつの市教育委員会社会教育課 主幹 林 一志 氏 「地域の学習・交流拠点と今後の社会教育について」 養父市教育委員会社会教育課 主幹 塚本 竜 氏</p> <p>パネルディスカッション 「地域人材を活用した学びの充実について」 コーディネーター NPO法人シミズシーズ 代表理事 柏木 登起 氏 パネリスト 加東市社会教育委員 神戸 滋和 氏 たつの市教育委員会社会教育課 主幹 林 一志 氏 養父市教育委員会社会教育課 主幹 塚本 竜 氏 (参加者数 103名)</p>
<p>会報</p>	<p>3月31日</p>	<p>発行</p>	<p>・会報「くすのき」第57号発行</p>

令和3年度兵庫県社会教育委員協議会各地区別研修会実施状況

	月日	場所	内容	講師等
阪神南	10月21日	西宮市役所 第2庁舎 (オンライン併用)	「(阪神間五市日本遺産認定) 伊丹諸白と灘の生一本 ～下り酒が生んだ銘醸地伊丹 と灘五郎郷～」	関西大学博物館 学芸員 合田 茂伸氏
阪神北	12月23日	三田市役所 本庁舎	「未来を見据えた社会教育 ～こうみん未来塾の実践～」	三田市子ども・未来部 子ども未来室 健やか育成課 係長 佐藤まゆみ氏
	2月25日 ～ 3月31日	オンデマンド 配信 (Youtube)	「未来を見据えた社会教育 ～第1回研修会の学びから ～」	岐阜聖徳学園大学短期大学 幼児教育学科第一部 教授 田中 亨胤氏 社会福祉法人 耕心会 西山田保育園 園長 門垣 登志子氏
東播磨・北播磨	7月10日	三木市 文化会館	「子ども達を地域で守る防 犯活動」	関西国際大学心理学部 教授 中山 誠 氏
	10月12日	加古川市立 加古川西公民館	「天高飛球(てんこうひき ゆう)」	前東播磨・北播磨地区社会 教育委員協議会幹事会 代表 前加古川市社会教育委員 協議会幹事会代表 前加古川市社会教育委員 会議 委員長 鹿多 証道氏
中播磨	11月24日	相生市文化会館 扶桑電通 なぎさホール	「那波野古墳・若狭野古墳 と播磨の後・終末期古墳」	相生市生涯学習課 文化財専門員 中濱 久喜 氏
西播磨	7月16日	相生市文化会館 扶桑電通 なぎさホール	「新型コロナのつき合い方」 ～人権の視点を含めて～	関西福祉大学 教授 勝田 吉彰氏
但馬	6月28日	養父市立 八鹿公民館	「地域と学校をつなぐ社会 教育の推進」	養父市社会教育委員 村上 義隆 氏
	11月26日	やぶ市民 交流広場	「大学生の取組の鑑賞」	芸術文化観光専門職大学創 作ダンスサークル 但馬旅人生活拠点(演劇)
丹波	10月28日	山南住民 センター	「社会教育について」 「開かれ、つながる社会教 育について考える」	丹波市立南小学校 校長 藪内 大介 氏
	12月9日	氷上回廊水分れ フィールド ミュージアム	「社会教育施設の役割や地 域とのつながり」	氷上回廊水分れフィール ドミュージアム 館長補佐 菊川 裕幸 氏
淡路	11月25日	北淡震災 記念公園	「阪神・淡路大震災と次世 代への継承について」	野島断層保存館 語り部活動事務局

令和3年度兵庫県社会教育委員協議会決算報告

一般会計決算書

1 収入の部

(単位：円)

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 (B)-(A)	摘要
地区分担金	430,000	430,000	0	@50,000×8地区 @30,000×1地区(丹波)
県分担金	100,000	100,000	0	
雑収入	27,304	26,684	△ 620	社教情報事務手数料
前年度繰越金	108,696	108,696	0	
合計	666,000	665,380	△ 620	

2 支出の部

(単位：円)

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 (B)-(A)	摘要	
会議費	役員会	10,000	6840	△ 3,160	会場使用料、講師謝金等
	総会	197,000	196521	△ 479	受賞記念品、講師謝金等
	旅費	10,000	1240	△ 8,760	近畿地区社会教育連絡協議会 (会長)
	小計	217,000	204,601	△ 12,399	
事業費	県研究大会	80,000	48480	△ 31,520	会場使用料、講師謝金等
	地区別研修会補助	130,000	242,000	112,000	@28,000×8地区 @18,000×1地区(丹波)
	くすのき発行	0	0	0	
	分担金	115,000	110,000	△ 5,000	全社連分担金、近畿地区分担金
	小計	325,000	400,480	75,480	
雑費	5,000	8,800	3,800	振込手数料	
予備費	119,000	38,005	△ 80,995	事務消耗品	
合計	666,000	651,886	△ 14,114		

収入総額 665,380 円

支出総額 651,886 円

差引残高 13,494 円

※差引残高は令和4年度へ繰り越します。

## 令和3年度事業並びに会計監査報告

会長から提出された、令和3年度兵庫県社会教育委員協議会の事業報告並びに収支決算関係書類を慎重に監査した結果、事業実施状況は適正かつ効果的であり、また、収支決算に関する計算並びに記帳は正確、妥当であることを認めます。

令和4年5月10日

監事 清水 誠朗  
監事 高田 明

議案第2号

令和4年度兵庫県社会教育委員協議会役員(案)

役職	名前	市町(地区)
会長	うえば けいいち 上羽 慶市	県
副会長	まんなみ よしたか 萬浪 佳隆	県
	はた みよこ 畑 美代子	淡路市(淡路)
理事	せりざわ たけし 芹澤 剛	尼崎市(阪神南)
	にしもと のぞむ 西本 望	宝塚市(阪神北)
	かじわら よしひろ 梶原 好博	高砂市(東播磨)
	かんべ しげかず 神戸 滋和	加東市(北播磨)
	たかた あきら 高田 明	姫路市(中播磨)
	ながさわ ひでと 長澤 秀人	福崎町(中播磨)
	むろい みちひろ 室井 美千博	太子町(西播磨)
	たにむら まさなが 谷邑 雅永	佐用町(西播磨)
監事	にしうち かずひろ 西内 一博	香美町(但馬)
	あらき のぶお 荒木 伸雄	丹波市(丹波)



## 議案第3号

### 令和4年度兵庫県社会教育委員協議会活動目標（案）

兵庫県では、第3期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」の基本理念「兵庫が育む ところ豊かで自立する人づくり」の実現に向け、人生100年時代を見据えた生涯学習の推進、家庭・地域の教育力の向上、学校・家庭・地域が連携・協働した『地域とともにある学校』づくりを推進されています。

国では、令和2年9月の「第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」において、新しい技術を活用した「新しい時代の学び」や、「人々の生命や生活を守る生涯学習・社会教育」を推進するための方策として、「学びをコーディネートする人材の育成・活用」や「つながり」の拡大、「学びと活動の循環・拡大」等が示され、新しい時代の生涯学習・社会教育の広がりや充実がめざされています。

また、令和2年度に新たに「社会教育士」が制度化され、「学び」の機会を社会のいたるところに仕掛け、豊かな地域づくりへの展開を支援する専門人材の育成が進められています。

これらを踏まえて、社会教育委員協議会では、これまで社会教育が果たしてきた役割を評価しつつ、先を見通すことが難しい今、子どもたちの明るい未来のため、これからの社会における社会教育の在り方を考えていく必要があるとの認識のもと、本年度の活動目標を、『社会の変化や課題を踏まえた新しい時代の社会教育の在り方の推進』、『豊かな人間関係を育む地域社会の創造にむけた、社会教育の推進』とし、5つの行動指針に基づき、その実現に向けた研修と実践に努めることとします。

#### 〔令和4年度活動目標（案）〕

- 『社会の変化や課題を踏まえた新しい時代の社会教育の在り方の推進』
- 『豊かな人間関係を育む地域社会の創造にむけた、社会教育の推進』



### 〔行動指針1〕『社会の変化や課題を踏まえた新しい時代の社会教育の在り方の推進』

ライフスタイルの変化や新たな感染症、自然災害等の課題に対し、必要な知識を得たり、課題解決に向けて共に学び合ったりする機会の充実など、新しい時代の学びを支える社会教育のあるべき姿を検討し、示します。

### 〔行動指針2〕地域社会の教育力を高める事業の推進

地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの成長を支えていく「地域学校協働活動」等、子どもが地域の中で豊かに育つための活動を推進することで、家庭、地域、学校の連携を深め、地域社会の教育力が高まるように取り組みます。

### 〔行動指針3〕地域を支える人づくり・ネットワーク化の促進

地域における社会教育活動の輪を広げるための広報活動を進めるとともに、社会教育関係団体や活動支援者が地域の課題を認識し共有する場の提供や、支援者のネットワークが広がるように取り組みます。

### 〔行動指針4〕地域の絆づくりを推進する拠点としての社会教育施設の機能の活性化

社会教育施設の地域における学習や交流の拠点としての機能を高めるとともに、子どもを中心とした教育支援活動や体験活動、地域の防災活動などの積極的な開催を図り、地域の絆づくりをすすめます。

### 〔行動指針5〕地域との関わりを子どもたちに伝える社会教育事業の促進

人生の豊かな経験や知識・技能を持つ地域人材（特にシニア世代）と連携を図りながら、子どもたちに地域活動の場や機会を提供し、体験を通じて互いに地域社会に対する関心や愛着を高める機会づくりをすすめます。

## 議案第4号

### 令和4年度兵庫県社会教育委員協議会事業計画（案）

事 項	月 日	会場等	内 容
第1回 役員会	5月17日 (火)	オンライン 会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業及び会計監査報告</li> <li>・令和4年度役員の選出について</li> <li>・令和4年度事業計画及び予算について</li> <li>・令和4年度総会・研修会について</li> <li>・令和4年度兵庫県社会教育委員協議会表彰について</li> <li>・令和4年度全国社会教育委員連合表彰について</li> </ul>
総 会 研修会	5月30日 (月)	県民会館 けんみん ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県社会教育委員協議会表彰</li> <li>・令和3年度事業・決算報告及び会計監査報告</li> <li>・令和4年度役員選出</li> <li>・令和4年度活動目標、事業計画、予算</li> </ul>
第2回 役員会	10月中旬	県庁周辺 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度兵庫県社会教育研究大会について</li> <li>・令和5年度総会・研修会について</li> </ul>
兵 庫 県 社会教育 研究大会	11月下旬	のじぎく 会館 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演</li> <li>・分科会別研究協議</li> </ul>
会 報	6月上旬 12月上旬 3月中旬	電子データ 発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「くすのき」第58号発行（ニュースレター）</li> <li>・「くすのき」第59号発行（ニュースレター）</li> <li>・「くすのき」第60号発行（ニュースレター）</li> </ul>

**【参考】**

- 近畿地区社会教育研究大会（奈良大会）  
     日程：令和4年9月2日（金）  
     会場：なら100年会館・ホテル日航奈良
  
- 全国社会教育研究大会（広島大会）  
     日程：令和4年10月26日(水)～10月28(金)  
     会場：広島国際会議場（広島県広島市）

# 令和4年度 近畿地区社会教育研究大会 [奈良大会]

第33回奈良県社会教育研究大会及び第69回奈良県公民館大会合同大会

開催要項 (案)

- 1 趣 旨 近畿各府県の社会教育委員をはじめ、社会教育関係者・社会教育に関心がある方が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践や研究の成果について交流を深め、今後の社会教育活動の一層の振興を図るとともに、時代の変化と社会のニーズに応じたこれからの社会教育のあり方について研究協議を行う。
- 2 研究主題 『人と人、人と地域を結ぶ、社会教育！』  
～変化する社会に期待される社会教育をめざして～
- 3 開催日 令和4年9月2日 (金)
- 4 主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合 近畿地区社会教育委員連絡協議会  
奈良県社会教育委員連絡協議会 奈良県教育委員会
- 5 共 催 奈良県公民館連絡協議会
- 6 主 管 近畿地区社会教育研究大会実行委員会
- 7 後 援 滋賀県教育委員会 京都府教育委員会 大阪府教育委員会  
(予定) 兵庫県教育委員会 和歌山県教育委員会
- 8 会 場 <全体会場・分科会場> なら100年会館 (奈良市三条宮前町7番1号)  
<分科会場> ホテル日航奈良 (奈良市三条本町8番1号)
- 9 参加対象 近畿各府県市町村の社会教育委員・社会教育関係者等
- 10 参加料 2,000円 (資料代)
- 11 大会日程 9:40 開場・受付開始 (なら100年会館 ホール前ロビー)  
.....■ 全体会 ■.....  
10:20 開会行事  
◇開会のことば 奈良県社会教育委員連絡協議会副会長  
◇主催者あいさつ 近畿地区社会教育委員連絡協議会会長  
一般社団法人全国社会教育委員連合会長  
奈良県教育委員会教育長  
◇祝 辞 文部科学省  
奈良県知事  
◇来賓紹介  
11:00 記念講演  
演題 『社会教育には今、何が期待されているのか』  
講師 金藤 ふゆ子 (文教大学人間科学部人間学科 教授)  
12:00 閉会行事  
◇次期開催府県あいさつ 滋賀県社会教育委員連絡協議会会長  
◇閉会のことば 奈良県社会教育委員連絡協議会副会長  
12:10 【休憩・移動】  
.....■ 分科会 ■.....  
13:50 分科会  
15:50 終了予定

12 分科会（各分科会場）

1	青少年教育 (滋賀県)	テーマ	地域の子は地域で守り育てよう ～こうらスマイルネットの取り組み～
		報告の 要旨	甲良町では、平成22年に青少年育成町民会議を「こうらスマイルネット」と名称を変更し、より地域に密着した様々な活動を展開している。中でも、町独自の取り組みである「ふれあい つながる こうらの子行動計画」について、その構想のねらい、現状と課題について報告する。
		討議の ポイント	・「あいさつ・声かけ」「マナーの向上・ルールへの遵守」を、全町民に浸透させるための効果的な活動とは。 ・少子高齢化が進む中で、青少年育成に関わる関係者の力量向上とネットワークの拡大のために社会教育が果たす役割とは。
2	地域づくり (京都府)	テーマ	前例・手本・答えのない時代の地域運営 ～経営的視点を持って～
		報告の 要旨	人口減少、少子高齢化、地域活動の担い手不足等、地域課題の解決のため、経営的視点を持って、様々な事業を展開している京丹後市久美浜町佐濃自治会の、地域づくりに関する取組状況について報告する。
		討議の ポイント	・各地域が抱える地域課題は。 ・各地域が抱える課題の解決に向けて、今何が必要か。 ・誰もが安心して暮らせる、持続可能な地域づくりとは。 ・地域づくりに対して社会教育委員に期待される役割は。
3	人権・教育 (大阪府)	テーマ	全ての人にとって生きやすい社会をめざして ～子育て中の外国人ママの居場所づくり事業から～
		報告の 要旨	大阪府豊中市で20年あまりにわたって地域の中でより孤立しがちな子育て中の外国人女性を対象とした居場所づくり事業（関わるボランティアも子育て中の女性）として、地域の図書館と共に活動している「おやこでにほんご」について報告する。
		討議の ポイント	・家庭・地域における身近な人権課題について、いかに取組を進めていくか。 ・人権教育を推進するうえで、地域における多様な人たちの支援や社会参加・学び合いのあり方について考える。
4	学校・家庭・地 域の協働 (兵庫県)	テーマ	これからの地域と学校の連携・協働について
		報告の 要旨	放課後等の子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する「地域子ども教室」等や、コミュニティ・スクールの取組を報告するとともに、これからの地域と学校の連携の在り方や、地域の関わり方について考える。
		討議の ポイント	・さらなる学校・家庭・地域の協働に向け、どのように地域の教育力を向上させるか。 ・地域の人材や魅力を活かすための取組について
5	ボランティア (和歌山県)	テーマ	岩出市の地域学校協働活動におけるボランティア活動の状況について ～地域住民の学校に対する多様な協力活動～
		報告の 要旨	和歌山県が推進する「きのくにコミュニティスクール」を定着させるために、岩出市で進めている取組を報告するとともに、岩出市立岩出第二中学校において令和3年度から実施している活動の状況と成果・課題について報告する。また、今後の活動の充実や定着について展望する。
		討議の ポイント	・各府県における地域学校協働活動の状況について。 ・「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」が目指すものとは。 ・地域住民等と学校との連絡調整等を行う地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の人材確保の課題について。

※各分科会の場所については、8月に配付予定の参加証と併せて、市町村教育委員会に送付します。

13 参加申込

- ◇ 参加者は、下記の「参加申込票」に参加料（資料代）2,000 円を添えて、7月1日（金）までに各市町村教育委員会に提出してください。
- ◇ 各市町村教育委員会は「参加申込票」及び参加料（資料代）を取りまとめて、7月8日（金）までに各府県教育委員会生涯学習・社会教育主管課あてに送付してください。
- ◇ 各府県教育委員会は、参加者を取りまとめ、参加申込総括表（別様式）を7月15日（金）必着で大会事務局に送付してください。参加料（資料代）は、大会事務局が指定する銀行口座に振り込んでください。  
 なお、資料代については、参加申し込み後は返還できません。（悪天候等に伴う大会中止及び欠席の場合を含む。）欠席の方の資料は、市町村単位で大会当日受付にて代理の方が必ず受領してください。

14 その他

- ◇ 会場周辺には十分な駐車スペースがありません。可能な限り公共交通機関を御利用ください。
- ◇ 大会当日の弁当は、斡旋はいたしません。各自で会場周辺の飲食店を御利用ください。また、大会会場では、弁当の持ち込み、飲食はできません。
- ◇ この研究大会につきましては「クールビズ」を実施しますので、御理解くださいますようお願いいたします。また、御参加くださる皆様も、是非クールビズでお越しください。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症が拡大した場合は、開催方法を変更する場合があります。その場合は、参加者に改めて詳細を連絡します。

令和4年度近畿地区社会教育研究大会（奈良大会）参加申込票

			受付番号	
府・県名			市町村名	
名 前				
所 属 名			職 名	
連絡先住所		〒		
電話番号		TEL		
希望の 分科会	第1希望	大会参加 方法	1 公共交通機関	
	第2希望		2 貸し切り・マイクロバス（公用も含む）	
	第3希望		3 自家用車（公用も含む）	

\*所属名は、市町村名、課名等を記入してください。

\*職名は、社会教育委員、社会教育課長、社会教育主事等を記入してください。

\*希望する分科会は1～5の分科会番号を記入してください。なお、会場の都合等により第2希望及び第3希望となる場合もありますので、あらかじめ御了承願います。

# 会場案内



## ■公共交通機関でお越しの方

### 近鉄線

- ・新大宮駅から徒歩約15分
- ・奈良駅から徒歩約20分
- ・奈良駅からバスで約5分

### JR線

- ・JR奈良駅西口から徒歩約5分

## ■駐車場について

奈良市営 JR奈良駅（西口）地下駐車場（有料）を御利用ください。

- ・収容台数：505台・高さ制限：2.1m
- ・入出庫時間 AM6:00～翌AM0:30（年中無休）
- ・駐車料金 20分毎に100円 最大700円  
午前0時30分を超えて駐車する場合1,200円（ただし、24時間以内）

令和4年度近畿地区社会教育研究大会事務局  
(近畿地区社会教育委員連絡協議会事務局)

〒630-8502 奈良県奈良市登大路町30番地

奈良県教育委員会事務局人権・地域教育課 社会教育係内

電話 0742-27-8018 FAX 0742-23-8609



# 第 64 回全国社会教育研究大会 広島大会

## 令和4年度中国四国地区社会教育研究大会

### 開催要項

#### 1 大会スローガン

「多様性を生み出し “百万一心” の心根で未来をつくる社会教育！！」

#### 2 研究主題

「これからの時代を見据えた学びのデザイン

～ ニューノーマル時代における社会教育の在り方 ～」

#### 3 開催趣旨

広島県は、瀬戸内海の多島美が風光明媚な景観を作り出す沿岸地域や中国山地の山々が四季折々の表情を見せる山間地域などの豊かな自然があり、世界遺産に登録されている厳島神社や原爆ドームには、国内外から多くの人々にお越しいただいています。

本大会の会場は、緑豊かな平和記念公園内にあります。この「平和」を発信し続ける地に、皆様をお迎えできることは、社会教育を含めた全ての教育の基盤となる「平和」について、改めて考えていただける機会になると思っています。

さて、「人生100年時代」や「Society5.0の実現」、コロナ禍に伴う「新しい生活様式」など、社会全体が急速に変化する中で、私たちは、より複雑化する課題に直面しています。このような時代だからこそ、多様な主体と連携・協働することが、より一層求められているのではないのでしょうか。大会スローガンにある「百万一心」は、広島ゆかりの名将“毛利元就”が残した「心を一つに協同一致して事を行う」という意味の名訓であり、社会教育が目指す「連携・協働」、「開かれ、つながる社会教育」に通じるものです。皆様と心（目的・目標）を一つにして、「未来を創造する社会教育を実現しよう！」との思い込めています。

全国の英知を結集し、これからの時代を見据えた学びをデザインするきっかけとなる大会を皆様と一緒につくってまいりたいと思っています。

#### 4 主 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、中国四国地区社会教育委員連絡協議会、広島県社会教育委員連絡協議会、広島県教育委員会、第64回全国社会教育研究大会広島大会実行委員会

#### 5 後 援

文部科学省、広島県、広島県公民館連合会 等（申請予定）

#### 6 期 日

令和4年10月26日（水）～28日（金）

7 会 場 10月26日(水) 広島YMCA国際文化センター 広島市中区八丁堀7-11  
 10月27日(木) 広島国際会議場 広島市中区中島町1-5  
 10月28日(金)

8 参加対象 都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係者  
 生涯学習・社会教育に関心のある方

9 参加費 一人 5,000円(参加資料代)

10 日 程

第1日 10/26 (水)					社教連理事会 14:00~15:30	社教連 事務局会議 15:50~16:50			
第2日 10/27 (木)	社教連総会 10:00~11:00	受付 11:30~12:30	アトラク ション 12:30 ~12:50 (10分休 憩)	開会行事 表彰式 13:00~13:50 (10分休 憩)	記念講演 14:00~15:20 (10分休 憩)	シンポ ジウム 15:30~17:00	閉会 行事 17:10 終了		
第3日 10/28 (金)	受付 9:00	分科会 9:30~12:00							

11 大会内容

第2日:10月27日(木)

12:30~12:50 歓迎アトラクション

広島山陽学園山陽高等学校 和太鼓部

13:00~13:50 開会行事(表彰式を含む。)

14:00~15:20 記念講演

演題:未定

講師:サンフレッチェ広島 代表取締役社長 仙田 信吾氏

15:30~17:00 シンポジウム

テーマ「これからの時代を見据えた学びのデザイン

~ ニューノーマル時代における社会教育の在り方 ~

[コーディネーター]

志々田 まなみ氏 (文部科学省国立教育政策研究所 総括研究官)

[シンポジスト]

小田 圭介氏 (静岡県裾野市議会議員)

平尾 順平氏 (特定非営利活動法人ひろしまジン大学 代表理事)

山崎 瑞穂氏 (島根県社会教育委員, 親学ファシリテーター)

藤田 昌也氏 (山口県教育庁地域連携教育推進課 社会教育主事)

17:00~17:10 閉会行事



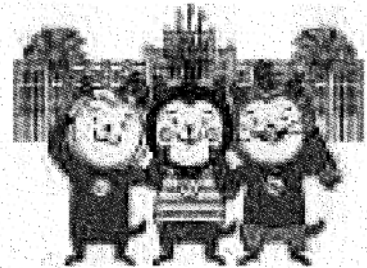
第3日：10月28日（金）

9：30～12：00 分科会

	テーマ	事例発表者	助言者 兼 コーディネーター
第1分科会	地域学校協働活動による地域力の向上	[青森県] つがる市教育委員会 社会教育委員長 葛西 貢造 氏	[徳島県] 鳴門教育大学 教員養成特別コース 地域連携センター 教授・所長 葛上 秀文 氏
		[高知県] 高知市立春野中学校 校長 小川 真悟 氏	
第2分科会	家庭教育支援・子育て支援の充実	[鹿児島県] 霧島市社会教育委員の会議 議長 新田 瑠璃子 氏	[香川県] 香川大学教育学部 教授 松本 博雄 氏
		[沖縄県] 一般社団法人まちづくりうらそえ 浦添市母子生活支援施設浦和寮 桃原 弘子 氏	
第3分科会	人生100年時代を見据えた社会教育の在り方	[富山県] ふるさと黒部 つむぐプロジェクト実行委員会 実行委員長 松野 健作 氏	[愛媛県] 新居浜市生涯学習センター 所長 関 福生 氏
		[広島県] 東広島市教育委員会生涯学習課 課長補佐兼社会教育主事 福永 崇志 氏	
第4分科会	社会構造の変化に伴う社会教育施設の役割	[島根県] 吉賀町教育委員会 地域・人づくりコーディネーター 檜谷 邦茂 氏 他 公民館主事	[鳥取県] 公立鳥取環境大学環境学部 教授 遠藤 由美子 氏
		[岡山県] 岡山市教育委員会生涯学習課 公民館振興室 主査 友延 栄一 氏	

令和5年度  
**第65回全国社会教育研究大会宮崎大会**  
第53回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会  
令和5年度宮崎県社会教育委員研究大会  
開催要項【案】

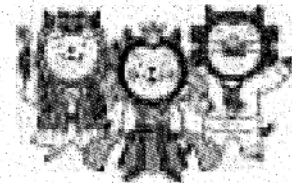
- 1 大会スローガン（案）  
つなぎ・つながり・つなげよう！未来へのたすき！！  
～日本のひなた宮崎からはじまる明日の社会教育～



- 2 研究主題（案）  
笑顔あふれる地域を創る社会教育の実践

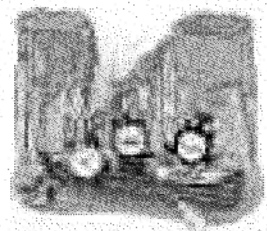
- 3 趣 旨（案）

かつて日向国と称された宮崎県は、燦々と太陽が降り注ぎ、秀麗で緑深き九州山地や霧島連山、清らかな河川が潤す宮崎平野、黒潮寄せる雄大な日向灘、そして温暖な気候と、自然に恵まれた風土にあります。また、日本発祥にまつわる日向神話の舞台である、この宮崎の地から、全国の社会教育委員をはじめとする社会教育関係者が一堂に会し、学び合い、語り合う本大会を通して、未来につながる明日の社会教育について発信できると考えています。



さて、現代社会において、少子化や核家族化等による地縁的なつながりや地域コミュニティの衰退を受けて、地域住民が主体となった地域の課題解決や地域の活性化がこれまで以上に求められる中、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりが極めて重要になっています。また、人生100年時代や Society 5.0などの社会変化、そして、今般の新型コロナウイルス感染症への対応を受けて、住民相互のつながりや多様な主体との連携・協働など、つながりを生かした社会教育を通じて、誰もが生きがいを感じられる地域社会の実現が求められています。

そこで、本大会のテーマを「つなぎ・つながり・つなげよう！未来へのたすき！！」とし、「つながり」をキーワードに、全国各地の「つながり」を生かした社会教育の実践を、本大会を通して共有し（つなぎ）、実践が各地に広がり（つながり）、そして、それらの実践が引き継がれ（つなげよう）、将来にわたって誰もが生きがいを感じ、笑顔があふれる地域社会の創出につながる大会にしたいと考えています。



- 4 主 催  
一般社団法人全国社会教育委員連合、九州ブロック社会教育委員連絡協議会、  
宮崎県社会教育委員連絡協議会、宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会、  
第65回全国社会教育研究大会宮崎大会実行委員会

- 5 後 援  
文部科学省、宮崎県、宮崎市、宮崎県公民館連合会 等（申請予定）

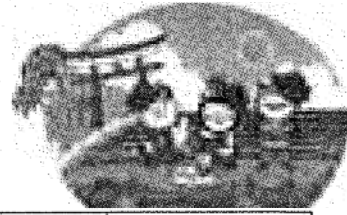
- 6 期 日  
令和5年11月8日（水）～10日（金）

7 会 場 (案)

〈全体会会場〉 宮崎市民文化ホール (1867 席)  
(宮崎市花山手東 3 丁目 2 5 - 3)

〈分科会会場〉

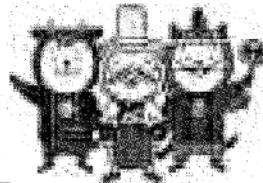
分科会	会 場	収容人数
1	宮崎市民文化ホール (大ホール 1・2 階席)	1246 席
2	宮崎市民文化ホール (多目的ホール)	300 席
3	(会場調整中)	
4	(会場調整中)	
5	宮崎市民プラザ (オルブライトホール)	497 席



8 参加者

都道府県・政令都市・市区町村の社会教育委員及び社会教育関係職員、  
公民館職員、社会教育関係団体、その他生涯学習・社会教育に関心のある方  
約 1,000 名

9 参加費 一人 5,000 円 (参加資料代)



10 日 程 (予定)

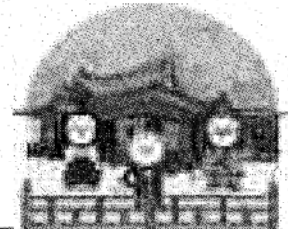
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
第 1 日 11/8 (水)									社教連 理事会	都道府県・ 政令市 社教連等 事務局 担当者会議	
第 2 日 11/9 (木)	九社教 理事会	社教連 総会	受付 分科会 打合せ	ア ト ラ ク シ ョ ン	開 会 行 事	記 念 講 演	シ ン ポ ジ ウ ム	閉 会 行 事		情 報 交 換 会	
第 3 日 11/10 (金)	受 付	分科会 (5 分科会)									

11 記念講演 (検討中)

12 シンポジウム (検討中)

13 分科会 (案)

分科会	主 題	助言者	事例発表者
1	学校・地域の連携・協働	(検討中)	(検討中)
2	家庭教育支援		
3	高齢者と社会教育		
4	地域の活性化		
5	社会教育委員の役割		



14 アトラクション (検討中)

令和4年度兵庫県社会教育委員協議会予算（案）

1 収入の部

（単位：円）

項目	R 3 予算額	R 4 予算額	摘要
地区分担金	430,000	195,000	5,000円/1市町 39市町
県分担金	100,000	100,000	
雑収入	27,304	26,506	社教情報事務手数料等
前年度繰越金	108,696	13,494	
合計	666,000	335,000	

2 支出の部

（単位：円）

項目	R 3 予算額	R 4 予算額	摘要
役員会	10,000	7,000	会場使用料（第1回はオンラインのため不要） @7,000×1回
総会	197,000	123,200	講師謝金20,000円・講師旅費13,000円（岡山市） 会場使用料52,200円（県民会館） 賞状2,000円、賞状筒4,000円、記念品32,000円
県研究大会	80,000	72,000	講師謝金20,000円、旅費10,000円、 会場使用料等42,000円（のじぎく会館）
旅費	10,000	5,000	近畿地区合同会議等会長出席旅費 （5/25奈良 3,200円）
地区別研究集会補助	130,000	0	※会則の細則改正（令和3年度第2回役員会決議）による、各 地区協議会分担金の見直しに伴う廃止（別紙参照）
分担金	115,000	110,000	全国社教連、近畿研究大会等分担金
雑費	5,000	5,000	振込手数料
予備費	119,000	12,800	
合計	666,000	335,000	

各地区連絡協議会分担金見直しによる兵庫県社会教育委員協議会  
会則の細則改正（令和3年10月22日 臨時役員会で決定）

1 細則の改正

(1) 改正内容

第2条中、「50,000円」を、「協議会ごとの構成市町数に5,000円を乗じた額」に改め、「但し、丹波地区にあつては、30,000円とする」を削る。

(2) 新旧対照表

改 正 前	
第1条	(略)
第2条	各地区協議会の分担金は、 <u>50,000円とする。但し、丹波地区にあつては、30,000円とする。</u>
第3条	(略)
改 正 後	
第1条	(略)
第2条	各地区協議会の分担金は、 <u>協議会ごとの構成市町数に5,000円を乗じた額とする。</u>
第3条	(略)

(3) 施行期日

令和4年4月1日

2 細則改正に伴う付帯意見

このたびの各地区協議会分担金の見直しに伴い、県協議会から各地区協議会への研修会補助を廃止することとなるが、県協議会及び各地区協議会においては、このことにより活動に影響が及ばないよう十分配慮すること。

以上、細則改正にあたって、兵庫県社会教育委員協議会役員会として決議する。

## 令和4年度兵庫県社会教育研究大会について（案）

### 1 趣 旨

県内の社会教育委員及び社会教育関係者が一堂に会し、活動目標「社会の変化や課題を踏まえた新しい時代の社会教育の在り方の推進」、「豊かな人間関係を育む地域社会の創造にむけた、社会教育の推進」のもと、県内における活動状況や研究成果を相互に交換し、社会教育の推進についての課題や社会教育委員の役割、活動について研究協議を行い、社会教育の振興に資する。

### 2 期 日

令和4年11月30日（水） 13：00～16：00 （後日オンデマンド配信）

### 3 会 場

兵庫県立のじぎく会館 大ホール他

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 TEL078-242-5355

### 4 参加者

社会教育委員、社会教育関係者等 各市町〇名まで

### 5 日 程

12：30～13：00	受 付
13：00～13：15	開会行事 あいさつ・日程説明等 (総合司会：中播磨)
13：15～14：15	講演 演題 「 」 講師 (謝辞：但馬地区)
14：15～14：45	休憩・移動
14：45～16：00	分科会 ・実践発表（阪神北・東播磨・中播磨） ・協議
16：00	閉会

### 6 実践発表

地区	発表テーマ	研究課題
阪神北		
東播磨		
中播磨		

兵庫県社会教育研究大会役割分担（H30～R9）

年度	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	令和 9	
総合司会	阪神北	—	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	阪神南	
開会行事	挨拶	主催者：会長 来賓：兵庫県教育長									
	日程説明等	県事務局									
講演	講師紹介	県事務局									
	謝辞	北播磨	—	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	阪神南	阪神北	東播磨
分科会	担当地区	阪神北	—	阪神南 (西播磨) ← (阪神南)	西播磨	阪神北	西播磨	阪神南	阪神北	西播磨	阪神南
		東播磨	—	丹波	北播磨	東播磨	丹波	北播磨	東播磨	丹波	北播磨
		中播磨	—	淡路	但馬	中播磨	淡路	但馬	中播磨	淡路	但馬
	閉会挨拶	各分科会 司会者									
(参考) 近畿大会	阪神南	—	延期 (阪神南) →	阪神南	北播磨	未定					

- ・ 令和元年度は、全国大会と合同開催したため、令和2年度にスライドした。
- ・ 令和2年度に予定されていた近畿大会が令和3年度に延期されたため、近畿大会で発表する予定であった阪神南（尼崎市）地区の発表を、県の研究大会で発表した。
- ・ 令和2年度に県研究大会発表予定の西播磨地区は、令和3年度に発表した。
- ・ 令和3年度は、分科会形式ではなく、分科会担当地区による実践発表を全体で行った。
- ・ 分科会の運営（提案・司会・記録・助言）は、一括して分科会担当地区が行う。

(参考) 近畿大会の発表について

近畿大会の分科会テーマに基づき、前年度の県研究大会における実践発表の中から1地区を選定している。

	テーマ	地区	市町
平成30年度	青少年教育	阪神南	西宮市
令和3年度	人権教育	阪神南	尼崎市
令和4年度	学校・家庭・地域の協働	北播磨	加東市

※ 近畿大会の担当分科会（テーマ）は、担当する府県が各府県の希望を調整し、決定する。



## 広報誌「くすのき」の発行方法変更について（案）

### 1 現状

社会教育委員の活動に関する情報を周知するため、県社会教育委員協議会や、各地区社会教育委員協議会の取組等を掲載した広報誌を作成・配付している。

※ 発行時期：1回（3月）

※ 発行方法：令和2年度まで紙媒体で配付

令和3年度から電子データによる配布

### 2 変更案

社会教育委員の活動に関する情報を、年間を通じて発信し、情報交換の場の充実や、社会教育活動の啓発につなげるため、ニュースレター形式で配信する。

※ 発行時期：6月・12月・3月（年3回）

※ 発行方法：電子データによる配付

県教育委員会社会教育課のホームページへの掲載

### 3 掲載内容

	内容（案）
6月号 （下旬）	1 会長挨拶 2 総会・研修会（5/30）の報告 3 全国や近畿の情報（予定・案内等） 4 その他、県内の社会教育に関する情報や案内 等
12月号 （中旬）	1 県社会教育研究大会の報告 2 各地区研修会の報告（前期） 3 全国や近畿の情報（大会・研修会報告等） 4 その他、県内の社会教育に関する情報や案内 等
3月号 （下旬）	1 各地区研修会の報告（後期） 2 次年度に向けた案内等 3 県内の社会教育に関する情報（県社会教育委員関係） 4 会長挨拶（年度末）

### 4 各地区への依頼事項

(1) 研究会実施後の情報提供（資料・写真等のご提供）

※ 4月～11月実施分・・・12月号掲載

※ 12月～3月実施分・・・3月号掲載

(2) 社会教育委員に関する情報交流の場としての活用（随時）

ニュースレターを通じて各地区社会教育委員協議会へ案内したい事項やPRする事柄があれば、積極的に情報提供をいただきたい。



# きのすく

## コロナ禍の中で考える



兵庫県社会教育委員協議会

会長 上羽 慶市

なぜか緑が恋しい。無性に緑が見たい。そんな気持ちを抑えきれず、神戸近郊の公園に出かけました。二月半ば過ぎ、遠くの山のみどりは柔らかく、風はまだ冷たいのですが、通り過ぎると真冬の風とは違う。なんとなく春めいています。緑に向かって何度か深呼吸して見せます。春が近いことを公園の緑も、頬をよぎる風も教えてくれます。

コロナ禍のなかの生活が、もう二年以上も続いています。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

半ば“巣ごもり生活”を強いられる中で、たぶん、緑の柔らかな空気に包まれない、そんな強い気持ちが公園に足を運ばせたのでしよう。

これが初めてではありません。二十七年前、阪神淡路大震災の時がそうでした。被災地では多くの人が家を失い、避難所生活は長きにわたりました。いまのコロナ禍とは違いますが、毎日の食糧、飲み水もガスもない。そしてお風呂も…。一カ月がたったころ、緑が見たくなり須磨の公園に向かいました。白梅だったでしょうか。早咲きの梅は満開でした。梅見の

人はほとんどいなくなりましたが、春の海は暖かく、遠く六甲山の緑は柔らかく光って見えたことを思い起こします。

私たちの日常から、おしゃべりや笑いが消えて久しくなります。コンサートに出かけたり、コーラスを聞いたり、歌ったり。酒で談笑することもほとんどなくなりました。

最近のニュースによると、ヨーロッパでは「コロナとの共生」を目指す動きが加速しているようです。英国は二月二十一日、人口の大半を占めるイングランドの在住者らを対象に、新型コロナウイルス対策のすべての法的規制を撤廃すると発表しました。感染者に対する隔離義務も解除するという事です。変異株オミクロン株の感染のピークが過ぎ、重傷者や死者数が減少したのを受けた措置だといえます。

英国全体では十二歳以上の六十六%がワクチンの追加接種を終えています。すでに三回目の接種を終えた高齢者を対象にさらなる追加接種を始める方針だといえます。感染者に対する隔離義務も無料のウイルス検査も、廃止すると発表しました。

ずいぶん思い切った規制撤廃をするものだと思います。今後はワクチン接種を一段と進め、「コロナとの共生」を目指すようです。

ヨーロッパでは、デンマークがすでにコロナ対策での法的な国内規制を二月から原則すべて解除していますし、アメリカなども州によって異なるようですが、マスクの着用の義務付けをなくす州も出ています。世界でも厳しいコロナの水際対策を続けてきたオーストラリアは、ワクチンの完全接種を条件にすべての国からの入国受け入れを始めました。

“巣ごもり生活”も二年もたつと、生活の姿がかなり変わってきたことに気づきます。まず、

テレビを見る時間が長くなりました。本や新聞を読む時間が長くなりました。逆に、人と話すことが減りました。電話は少なく、パソコンやスマホを使うのですが、短い文章のやり取りが増えました。年が変わっても、会議や出張などは中止、延期の連続で、対面ではなく、Zoomでの会議、授業が多くなりました。在宅勤務が増えた、とニュースは伝えていきます。

テレビといえば、以前の番組は知らないのですが、お笑いと、料理番組が多いように思います。料理は、“おうちごはん”というようですが、どのチャンネルを押してもやっています。これも長引くコロナ禍が背景にあるのでしょうか。

外出時にはマスクが欠かせません。先日図書館へ向かう途中で、知り合いの人に出会ったと思つて挨拶したところが別人だとわかりました。「マスクの下は笑顔です」といったお店の張り紙を見ることがあります。人同士が出会ったとき、相手の表情を見る、確かめる。そこからコミュニケーションは始まります。不機嫌なのか、笑っているのか、びっくりしたのか…。それがいまは難しくなっています。

このように考えてみると、コロナ禍がもたらすものは、マイナスばかりです。反対にプラス思考に立つてみるとどうだろうか。感染症の新しい薬が開発される契機になりましたし、手洗いやマスク着用によって公衆衛生上の関心も高くなりました。家族の会話が増えた人がいるかもしれません。確かにそうかもしれませんが。

しかし、私たちの活動は、人と人との出会いから始まります。そこから生まれる絆、支え合い。そのことがいかに大切か、改めて思い至りました。

令和三年度 役員名簿

役職	名前	所属
会長	上羽 慶市	県社会教育委員
副会長	萬浪 佳隆	県社会教育委員
副会長	荒木 伸雄	丹波(丹波市)
理事	立田 慶裕	阪神南(西宮市)
理事	田中 亨胤	阪神北(三田市)
理事	梶原 好博	播磨東(高砂市)
理事	神戸 滋和	北播磨(加東市)
理事	辻井 光明	中播磨(神河町)
理事	室井美千博	西播磨(太子町)
理事	梅井 逸郎	但馬(養父市)
理事	畑 美代子	淡路(淡路市)
監事	高田 明	中播磨(姫路市)
監事	清水 誠朗	西播磨(相生市)

令和三年度兵庫県社会教育委員協議会

活動目標

兵庫県では、第三期「ひょうご」教育創造プラン（兵庫教育基本計画）の基本理念「兵庫が育む、こころ豊かで自立する人づくり」の実現に向け、人生一〇〇年時代を見据えた生涯学習の推進、家庭・地域の教育力の向上、学校・家庭・地域が連携・協働した『地域とともにある学校』づくりを推進されています。

国では、令和二年九月に『第一〇期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理』において、新しい時代の新たな学びとして「オンラインによる学び」と「対面による学び」の組合せが学びを豊かにすること、学びを通じて人々の生命や生活を守る生涯学習・社会教育が今後ますます重要になるということ、様々な人に必要な学びの機会を設けることが、誰一人として取り残すことのない「包摂的」な社会の実現につながると示されています。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、人の移動や集いの場が制限されるなど、私たちの生活様式は大きく変化しています。このような中で、ICTを活用したオンラインによる会議や教育活動など新たな手法が定着しつつあります。

これらを踏まえて、社会教育委員協議会では、これまで社会教育が果たしてきた役割を踏まえつつ、ポストコロナ社会における社会教育の在り方を考えていく必要があるとの認識のもと、本年度の活動目標を、『ポストコロナ社会における社会教育の在り方の検討』、『豊かな人間関係を育む地域社会の創造にむけた、社会教育の推進』とし、五つの行動指針に基づき、その実現に向けた研修と実践に努めることとします。

〔令和三年度活動目標〕

○ポストコロナ社会における社会教育の在り方の検討  
○豊かな人間関係を育む地域社会の創造にむけた、社会教育の推進

〔行動指針一〕

ポストコロナ社会における社会教育の在り方の検討  
テレワークの浸透等によるライフスタイルの変化やICT環境の充実などを踏まえ、新たなテクノロジーを活用した学びの展開など、ポストコロナ社会に対応した社会教育の在り方を検討します。

〔行動指針二〕

地域社会の教育力を高める事業の推進  
地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの成長を支えていく「地域学校協働活動」等、子どもが地域の中で豊かに育つための活動を推進することで、家庭・地域・学校の連携を深め、地域社会の教育力が高まるように取り組みます。

〔行動指針三〕

地域を支える人づくり・ネットワーク化の促進  
地域における社会教育活動の輪を広げるための広報活動を進めるとともに、社会教育関係団体や活動支援者が地域の課題を認識し共有する場の提供や、支援者のネットワークが広がるように取り組みます。

〔行動指針四〕

地域の絆づくりを推進する拠点としての社会教育施設の機能の活性化  
社会教育施設の地域における学習や交流の拠点としての機能を高めるとともに、子どもを中心とした教

育支援活動や体験活動、地域の防災活動などの積極的な開催を図り、地域の絆づくりをすすめます。

〔行動指針五〕  
地域との関わりを子どもたちに伝える社会教育事業の促進

人生の豊かな経験や知識・技能を持つ地域人材（特にシニア世代）と連携を図りながら、子どもたちに地域活動の場や機会を提供し、体験を通じて互いに地域社会に対する関心や愛着を高める機会づくりをすすめます。

令和3年度  
兵庫県社会教育委員協議会の歩み

1 第一回役員会 六月十日（木）オンライン開催

- ・令和2年度事業・決算・会計監査報告
- ・令和3年度役員選出（案）について
- ・令和3年度活動目標（案）について
- ・令和3年度事業計画及び予算（案）について
- ・令和3年度総会・研修会について
- ・令和3年度兵庫県社会教育委員協議会表彰
- ・令和3年度全国社会教育委員連合表彰の候補者推薦について

2 総会・研修会 七月五日（月）

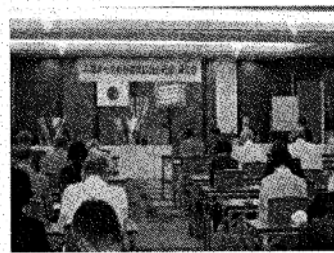
- ・ホテル北野ブラザ六甲荘（参加者一二二名）
- ・令和3年度兵庫県社会教育委員協議会表彰
- ・令和2年度事業・決算・会計監査報告
- ・令和3年度役員選出について
- ・令和3年度活動目標について
- ・令和3年度事業計画・予算について
- ・講演「AI（人工知能）と共存する社会教育の学びを探る」

・講師 千葉敬愛短期大学学長

千葉大学名誉教授

中央教育審議会生涯学習分科会

会長（第七〇期） 明石 要一氏



【令和3年度総会の様子】

3 臨時役員会 八月十日（金）オンライン開催

・令和3年度予算の変更について

4 臨時総会 九月八日（水）書面開催

・令和3年度予算の変更について

5 第二回役員会 十月七日（木）兵庫県民会館

・各地区協議会の活動状況報告

6 令和3年度兵庫県社会教育研究大会について

・令和4年度総会・研修会について

7 令和4年度各地区協議会分相金等の見直しについて

・臨時役員会 十月二十二日（金）書面開催

8 兵庫県社会教育委員協議会会則の細則改正について

・社会教育研究大会 十一月二十九日（月）

- ・於「のじぎく会館（参加者一〇三名）
- ・講演「社会教育における地域力（市民力）を發揮させるための方策」
- ・講師 NPO法人シミンズシリーズ
- 代表理事 柏木 登起氏

・実践発表

「地域子ども教室の充実した活動に向けて」

加東市社会教育委員 神戸 滋和氏

加東市教育委員会生涯学習課 主査 福島 奨平氏

「地域と学校の連携による取組『たつの市こども未来塾』について」

たつの市教育委員会教育事業部 社会教育課 主幹 林 一志氏

「地域の学習・交流拠点と今後の社会教育について」

養父市教育委員会社会教育課 主幹 塚本 竜氏

「地域人材を活用した学びの充実について」

（コーディネーター）

NPO法人シミンズシリーズ 代表理事 柏木 登起氏

（パネリスト）

加東市社会教育委員 神戸 滋和氏

たつの市教育委員会教育事業部 社会教育課 主幹 林 一志氏

養父市教育委員会社会教育課 主幹 塚本 竜氏

近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）

十一月二十一日～二十八日 オンデマンド開催

・研究主題

『新時代の多様な人づくり・つながりづくり・地域づくり』持続可能な地域共生社会をつくる

社会教育のあり方

・講演 「いのち輝く未来社会のデザイン 一九七〇年

大阪万博から二〇二五年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向けて

講師 大阪府立大学研究推進機構特別教授

大阪府特別顧問 橋爪 紳也 氏

〔第一分科会〕 社会教育委員の役割 奈良県

〔第二分科会〕 青少年教育 滋賀県

〔第三分科会〕 学校・家庭・地域の協働 京都府

〔第四分科会〕 地域づくり 和歌山県

〔第五分科会〕 人権教育 兵庫県

テーマ「全ての人にとって生きやすい社会をめざして」

てく支援者の育成と社会教育のあり方

提案者 尼崎市社会教育委員 濱田 格子 氏

助言者 兵庫県教育委員会事務局 人権教育課 副課長 阿部 浩士 氏

9 全国社会教育研究大会（石川大会）

十月二十八日（火） 県外参加者は、オンライン参加大会スローガン

今こそ攻めの社会教育を！いよつ社会教育委員！

研究主題

地域の未来を創る社会教育のさらなる挑戦

～智仁勇が未来をクリエイトする～

記念講演 「御御付けと腸を考える」

講師（株） ヤマト醤油味噌

代表取締役 山本 晴一 氏

シンポジウム

テーマ「人びとが豊かに暮らすまちづくりを

目指す 新たな学び」

コーディネーター

石川県社会教育委員（金沢大学名誉教授）

浅野 秀重 氏

シンポジスト

国連大学サステイナビリティ高等研究所

いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

事務局長 永井三岐子 氏

石川県公民館連合会会長 関戸 正彦 氏

野々市市観光物産協会事務局長 榎谷 泰裕 氏

10 一般社団法人全国社会教育委員連合表彰

本県受賞者 辻井 光明 氏（神河町）

山口ひろ子 氏（洲本市）

11 会報『くすのき』第五十七号

三月三十一日（木）発行

兵庫県社会教育委員協議会の開催状況

○ 第一回会議 十月六日（水） 於 兵庫県民会館

令和三年度兵庫県社会教育委員協議会の審議並びに専門部会の構成について

○ 第二回会議 十二月二十七日（月）

於 ひょうご女性交流館

報告

〔第一部会〕 兵庫県社会教育委員協議会総会及び

研修会、研究大会、近畿地区社会教育研究大会について

〔第三部会〕 視察の報告

協議

〔第二部会〕 審議報告について

○ 第三回会議 三月二十五日（金） 於 兵庫県民会館

議事

令和四年度社会教育関係団体に対する補助金

について

令和四年度社会教育・生涯学習関連新規・拡充

事業について

協議

第三十七期兵庫県社会教育委員協議会審議報告

骨子案

○ 第一部会 兵庫県社会教育委員協議会との連携

七月五日（月） 総会及び研修会出席

十一月二十九日（月） 兵庫県社会教育研究大会出席

○ 第二部会 審議報告骨子案の内容検討及び協議

十一月十八日（木） 県庁会議室

○ 第三部会 視察訪問

ネットワークの活用や、連携により、事業を効果的に進めている団体等を訪問

十一月十九日（金）

訪問先 ① 夫栗市立一宮北小学校

② 社会福祉法人認定こども園（明石市）

十二月十七日（金）

訪問先 ① 障害者の生涯学習支援をする株式会社

② 子育て支援に取り組むNPO法人

（神戸市）

兵庫県社会教育委員協議会地区別研修会

【阪神南地区】

本年度の研修目標

「地域について学び、愛郷心の向上を目指す」

1 役員会（総会）

日時 令和三年七月八日（木）

場所 西宮市役所 東館

参加者 十二名（内オンライン一名）

概要 総会終了後、地区協議会における今年度の活動について説明・協議を行った。

2 研修会

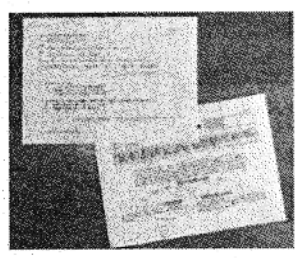
テーマ 「阪神間五市日本遺産認定」伊丹諸白と



灘の生一本 くだり酒が生んだ銘醸地  
伊丹と灘五郷

日時 令和三年十月二十一日(木)  
場所 西宮市役所 第二庁舎  
参加者 二十六名(内オンライン七名)  
講師 関西大学博物館

学芸員 合田 茂伸氏  
概要 今回の研修は、令和二年度に予定されていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となり、今年度は感染拡大防止対策として、オンライン併用での開催となった。前西宮市役所文化財課長を講師に、日本遺産認定に至るまでの苦労話や阪神間の酒造りに関する文化財などについて、写真や画像を使ってわかりやすく解説いただいた。講演の後には、日本酒をテーマに、グループに分かれて意見交換を行った。



【阪神南地区研修の資料】

【阪神北地区】

本年度の研修目標

「未来を見据えた社会教育」学びを地域に還元する

1 第一回研修会

テーマ 「未来を見据えた社会教育 ～こども未来塾の実践～」

日時 令和三年十二月二十三日(木)  
場所 三田市役所本庁舎  
三階三〇二A会議室

参加者 二十八名  
講師 三田市子ども未来部子ども未来室 健やか育成課 係長 佐藤まゆみ氏  
こども未来塾講師  
元全日空パイロット 井原 克行氏  
教育アドバイザー 小田中美穂氏

概要 こども未来塾に講師として参画されている市民講師お二人の実践報告を行った。井原氏と小田中氏が自身の経験を活かし、自らの学びを地域に還元するに至った経緯と講師を務める過程で、地域と自身自身に生じた変化に着目した。地域の人から地域の人へと広がる学びこそ、未来を見据えた社会教育であり、教える側にとつての喜びの視点を学ぶ良い機会となった。

2 第二回研修会

テーマ 「未来を見据えた社会教育 ～第一回研修会の学びから～」

日時 令和四年二月二十四日(木) 三月三十一日(木)

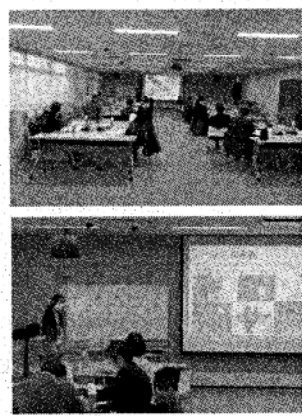
※ 新型コロナウイルス感染症拡大のため、YouTubeにて研修動画を限定公開。

対象 阪神北地区の社会教育委員  
講師 岐阜聖徳学園大学短期大学部 幼児教育学科第一部

教授 田中 亨胤氏  
社会福祉法人耕心会西山田保育園

司会 株式会社エフエムさんだ 園長 馬込 武志氏  
代表取締役 門垣 登志子氏

概要 第一回研修会での学びを踏まえ、事前に各市町へ課したヒアリングシートに、今後の各市町での社会教育活動の展望を記していただき、動画内で学識経験者二人の専門的な視点からの感想等を交えながら各市町のシートを情報共有した。動画の視聴だけでなく、シートの作成自体を研修の一環とした。また、地元ラジオ局長の門垣氏の進行のもと、編集にて簡潔で論点の整理された研修動画となった。



【阪神北地区研修の様子】

【東播磨・北播磨地区】

本年度の研修目標

「東播磨・北播磨地区が相互に連携し、播磨はひとつの理念のもと、公民館等社会教育施設とともに社会教育の振興に資する」

1 第一回研修会

(総会・研修会)  
総会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため  
研修会 中止  
研修会 中止  
第二回研修会

2 第二回研修会

テーマ 「子ども達を地域で守る防犯活動」

日時 令和三年七月十日(土)

場所 三木市文化会館 小ホール

参加者 九十七名

講師 関西国際大学心理学部

教授 中山 誠氏

概要 子どもが被害者になった犯罪例をもとに問題点を上げながらお話しいただいた。犯罪者の心理として清掃され、あいさつの声が聞こえる地域では、犯罪を起こしにくい。防犯のためにも地域住民が互いに信頼関係を築いていくことが大切であるとお教えた。だき有意義な研修となった。

3 第三回研修会

テーマ 「天高飛球(てんこうひきゅう)」

日時 令和三年十月十二日(火)

場所 加古川市立加古川西公民館

参加者 五十九名

講師 前東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会幹事会 代表

前加古川市社会教育委員協議会

委員長 鹿多 証道氏

概要 人権擁護委員、日本高校野球連盟審判規則委員として、春・夏の甲子園大会の審判委員をつとめられた経験からのエピソードを交えながらお話しいただいた。演題は、「夏の甲子園大会大会歌「栄冠は君に輝く」の一節「天高く球が飛ぶ」から取られた。野球(ベースボール)の用語やルールを解説しながら、根本にある自由と平等の精神について教えていただき、社会教育を進めるうえで自由と平等の

精神を大切にしなければならぬと改めて感じた研修となった。



【東播磨・北播磨地区の研修の様子】

【中播磨地区】  
本年度の研修目標

「豊かな人間関係を育む地域社会の創造にむけた、社会教育の推進」

1 総会

日時 令和三年六月十四日(月)

場所 神河町役場三階第三会議室

参加者 八名

概要 地区協議会の令和二年度の実績等を報告し、令和三年度の事業計画等の承認を得た。

2 研修会 (中播磨・西播磨地区社会教育連絡協議会 合同研修会)

テーマ 「那波野古墳・若狭野古墳と播磨の後・終末期古墳」

日時 令和三年十一月二十四日(水)

場所 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール

参加者 十八名

講師 相生市生涯学習課

文化財専門員 中濱 久喜氏

概要 古墳時代の流れとともに変わりゆく古墳の規模や形状、構造、その時代背景につ

3 視察研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。いて、相生市に所在する古墳を中心に取上げて解説された。古墳に関する解説だけでなく、その時代の政治的背景や古墳とともに生きた人々の背景にも触れられ、文化財を活用した幅広い社会教育推進の糸口を垣間見ることができた研修となった。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

【西播磨地区】  
本年度の研修目標

ポストコロナ社会における社会教育の在り方の検討及び豊かな人間関係を育む地域社会の創造にむけた社会教育の推進

1 第一回研修会 (総会・研修会)

テーマ 「新型コロナウイルスのつき合い方」

日時 令和三年七月十六日(金)

場所 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール

参加者 三十一名

講師 関西福祉大学 教授 勝田 吉彰氏

概要 新型コロナウイルス感染症に係る人権問題をテーマに講演いただいた。また、これまでの新型コロナウイルス感染症の状



【中播磨地区研修の様子】

2

第二回研修会(中播磨・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会)

テーマ 「那波野古墳・若狭野古墳と播磨の後・終末期古墳」

日時 令和三年十一月二十四日(水)

場所 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール

参加者 四十四名

講師 文化財専門委員 中濱 久喜氏

概要 地域の社会教育活動の一つとして、文化財を活用するための研修を行った。今回は、参加者がそれぞれの地域で活用できるように西播磨にある古墳も合わせて紹介いただいた。講演の最後では、学校教育や、地域諸団体との連携の方法、社会教育に期待することなどをお話いただき、有意義な研修となった。



【西播磨地区研修会の様子】

【但馬地区】  
本年度の研修目標

「地域と学校をつなぐ社会教育の推進」

1 第一回研修会

テーマ 「郷土の先人に学ぶ」

日時 令和三年六月二十八日(月)

場所 養父市(養父市立八鹿公民館)

参加者 三十五名

講師 養父市社会教育委員 村上 義隆氏

概要 郷土の先人を、地域や学校等に伝える取組により、地域文化を知り、郷土に誇りをもつことを委員として再認識した。



【但馬地区研修の様子①】

2 第二回研修会

テーマ 「大学生の取組の鑑賞」

日時 令和三年十一月二十六日(金)

場所 養父市(やぶ市民交流広場)

参加者 二十八名

講師 芸術文化観光専門職大学 創作ダンスサークル

但馬旅人生活拠点(演劇)

概要 本年度から設置された大学に全国各地から但馬に来た大学生の活動を知ること

【丹波地区】  
本年度の研修目標

「地域コミュニティと社会教育について つながりづくり」

1 第一回研修会

内容 講演・意見交流

日時 令和三年十月二十八日(木)

場所 山南住民センター

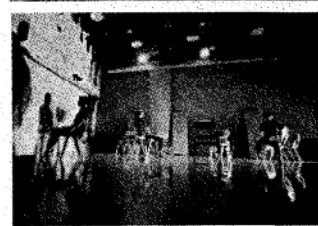
参加者 十三名

講師 丹波市立南小学校長 敷内 大介氏

概要 昨年度の研修テーマに引き続き「つながりづくり」に焦点を当てた研修会を二回にわたって開催した。第一回研修会では、講師に「社会教育について」と題してご講演いただいた後、「開かれ、つながる社会教育について考える」をテーマに、即答フリック方式ディスカッションで社会教育に関する考えを出し合った。

2 第二回研修会

内容 施設見学および説明・意見交流



【但馬地区研修の様子②】

若い世代とつながり、考えを知る機会となった。

日時 令和三年十二月九日(木)

場所 水上回廊水分れフィールドミュージアム

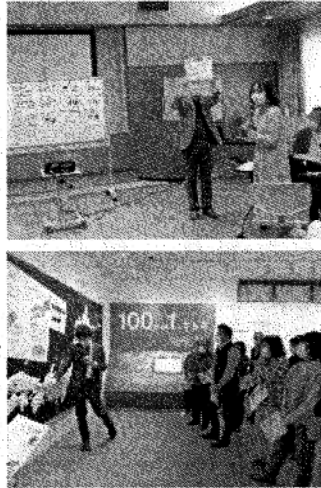
参加者 十八名

講師 当施設館長補佐 菊川 裕幸氏

進行 丹波市立南小学校長 篠内 大介氏

概要 第二回研修会では、令和三年三月にリニ

ューアルした研修会場を見学した後、委員からの質問に答える形で、講師に社会教育施設の役割や、地域とのつながりなどについて講演していただいた。改めて社会教育とは何かを学ぶとともに、研修会での学びを自分の活動につなげることが大切だと再認識する機会となった。



【丹波地区研修の様子】

【淡路地区】

本年度の研修目標

「阪神・淡路大震災と次世代への継承について」

1 総会

日時 令和三年六月二十三日(水)

参加者 六名

概要 書面により、地区協議会における今年度

2 研修会

テーマ 「阪神・淡路大震災と次世代への継承について」

日時 令和三年十一月二十五日(木)

場所 北淡震災記念公園

参加者 二十名

概要 淡路島には、阪神淡路大震災等過去の自然災害により多くの被害を受けており、断層の保存や写真記録、各種文献等過去の災害の記録が多く残されており、そうした記録に触れる機会を充実させることにより、自然災害への理解を深め地域における防災の人づくり・地域づくりを行うことが社会教育に求められている。今回の研修では、平成七年に発生した兵庫県南部地震から二十六年を数え、改めて淡路地区に大きな影響を及ぼした「阪神・淡路大震災」をテーマとし、記憶の継承の視点から人づくり・地域づくりにつながる社会教育の向学に資することを目的として実施し、有意義な研修会となった。

の活動について協議を行った。



【淡路地区研修の様子】

お知らせ

◆ 令和四年度総会・研修会

期日 令和四年五月三十日(月)

会場 兵庫県民会館

◆ 令和四年度社会教育研究大会

期日 令和四年十一月

会場 兵庫県庁周辺施設

◆ 令和四年度近畿地区社会教育研究大会

期日 令和四年九月二日(金)

会場 奈良県奈良市

◆ 令和四年度全国社会教育研究大会(広島大会)

期日 令和四年十月二十六日(水)

会場 広島県広島市

編集・発行  
 兵庫県社会教育委員協議会  
 会長 上羽 慶市  
 〒650-8567  
 神戸市中央区下山手通5-10-1  
 兵庫県教育委員会事務局  
 社会教育課内  
 TEL 078-362-3782  
 FAX 078-362-3927





A series of 25 horizontal dashed lines for writing.

# 兵庫県社会教育委員協議会会則

## 第 1 章 総 則

- 第 1 条 この会は兵庫県社会教育委員協議会という。
- 第 2 条 この会の事務局は兵庫県教育委員会事務局におく。
- 第 3 条 この会は兵庫県下の社会教育委員もしくは社会教育に関わる者(以下「委員」という。)をもって組織する。
- 第 4 条 この会の連絡調整を図るため、県、阪神南、阪神北、東播磨、北播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路の 10 の協議会をおく。

## 第 2 章 目 的

- 第 5 条 この会は委員相互の連絡調整を図り、社会教育の振興発展に寄与することを目的とする。
- 第 6 条 この会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 社会教育に関する情報の交換並びに連絡調整
  - 2 委員相互の研修
  - 3 社会教育に関する調査研究
  - 4 社会教育の条件整備の推進
  - 5 その他必要な事業

## 第 3 章 役 員

- 第 7 条 この会に次の役員をおく。  
会長 1 名、副会長 2 名、理事 8 名、監事 2 名
- 第 8 条 会長、副会長及び監事は総会において選出する。理事は各協議会から推薦し、総会の承認を得る。
- 第 9 条 会長はこの会を代表し、会務を総括する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。理事は会務を処理する。監事は会の事業並びに会計を監査する。
- 第 10 条 役員任期は 1 年とし、再任を妨げない。
- 第 11 条 本会に顧問をおくことができる。
- 2 顧問は役員会の議決を経て会長が委嘱する。
  - 3 顧問は会議に出席して意見を述べるができる。

## 第 4 章 会 議

第 12 条 この会の会議は次のとおりとする。

- 1 総 会
- 2 役 員 会

第 13 条 総会は代議員をもって構成する。代議員の数は町にあっては 1 名、市にあっては 2 名、県にあっては 2 名とする。

第 14 条 総会は会長が招集し、年 1 回以上開催する。総会は予算、決算、事業計画その他重要な事項を審議する。

第 15 条 役員会は必要と認めたとき、又は、1 / 3 以上の申し出があったときは総会を開かなければならない。

第 16 条 役員会は会長、副会長、理事をもって構成し、会長が招集して会務を総理する。

第 17 条 会は構成員の過半数をもって成立し、議事は出席者の過半数で決する。

## 第 5 章 会 計

第 18 条 この会の経費は分担金、補助金、寄附金その他の収入をもってあてる。

第 19 条 この会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 3 1 日に終わる。

## 第 6 章 そ の 他

第 20 条 この会の実施に必要な細則は役員会において別に定め総会に報告する。

- 1 この会の会則の改廃は総会において出席者の 2 / 3 以上の同意が無ければならない。
- 2 この会則は昭和 4 9 年 6 月 2 5 日から実施する。

### 附則

平成 1 4 年 4 月 1 日、一部改正し、実施する。  
平成 1 8 年 4 月 1 日、一部改正し、実施する。  
平成 2 5 年 7 月 3 日、一部改正し、実施する。

## 兵庫県社会教育委員協議会会則の細則

第1条 この細則は兵庫県社会教育委員協議会会則第20条の規定により、同第7条に示す役員（以下「役員」という。）に欠員が生じた場合の処置について定めるものである。

第2条 役員が欠けたときは、その役員が所属した協議会から推薦された候補者をもってあてる。

第3条 新たに役員になった者の任期は、前任者の残任期間とする。

この細則は、昭和58年8月29日より実施する。

## 兵庫県社会教育委員協議会会則の細則

第1条 この細則は兵庫県社会教育委員協議会会則第18条の規定により、分担金について定めるものである。

第2条 各地区連絡協議会の分担金は、1市町あたり5,000円とし、それに構成市町数を乗じた額とする。

第3条 兵庫県社会教育委員の会議の分担金は、100,000円とする。

この細則は、平成13年7月19日より実施する。

この細則は、平成18年4月1日より一部改正し、実施する。

この細則は、令和3年10月26日に一部改正し、令和4年4月1日より実施する。

